

◆ 今週のコメント

- ・ **デング熱**の報告が1例(女性, 20歳代)あります。推定感染地域は国外(インドネシア), 推定感染経路は蚊です。「感染症法」が施行された平成11年4月以降の京都市の累積報告数は24例となっています。推定感染地域は全て国外で, 国別ではインドネシア9例, タイ5例, インド4例の順となっています。
- ・ **インフルエンザ**の定点当たり報告数は, 4.72で先週(9.78)に比べ半減しましたが, 依然として過去5年平均値を上回っています。第14週は春休みの期間であり, 年齢群別では5歳～14歳の群は約1/3に減少しましたが, 15歳以上では横ばい状態となっています。
インフルエンザの発生状況の詳細は, 下記のホームページを御参照ください。
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000071285.html>

◆ 今週のトピックス: <風しん>

風しんの報告が2例あり, 本年の累積報告数は4例となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 四類: デング熱 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類: 風しん 2例【1月以降の累積報告数 4例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	4.72	321
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.46	224
	② 水痘	1.00	41
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.90	37
	④ 流行性耳下腺炎	0.39	16
	⑤ 突発性発しん	0.27	11
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

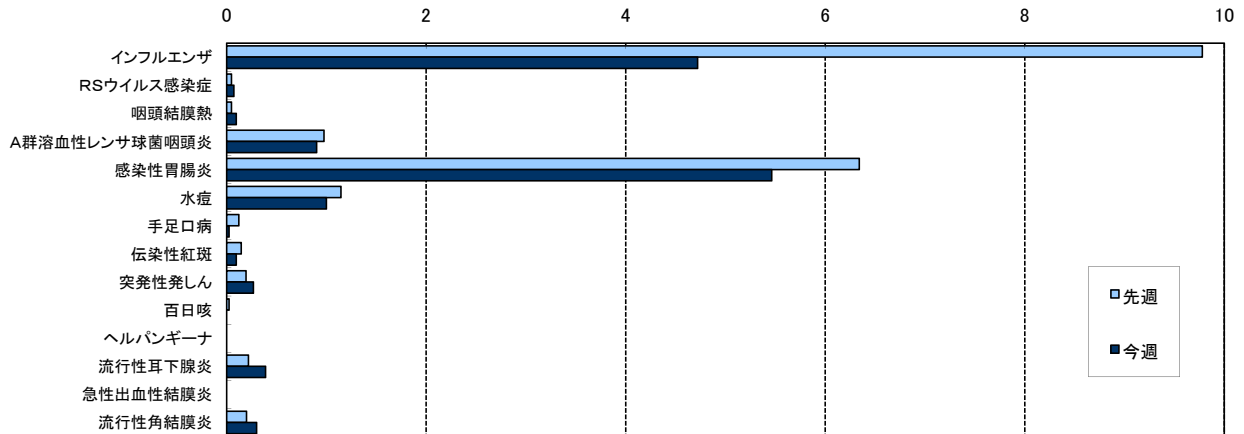
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <風しん>

(注) 京都市のデータは, 平成24年4月12日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

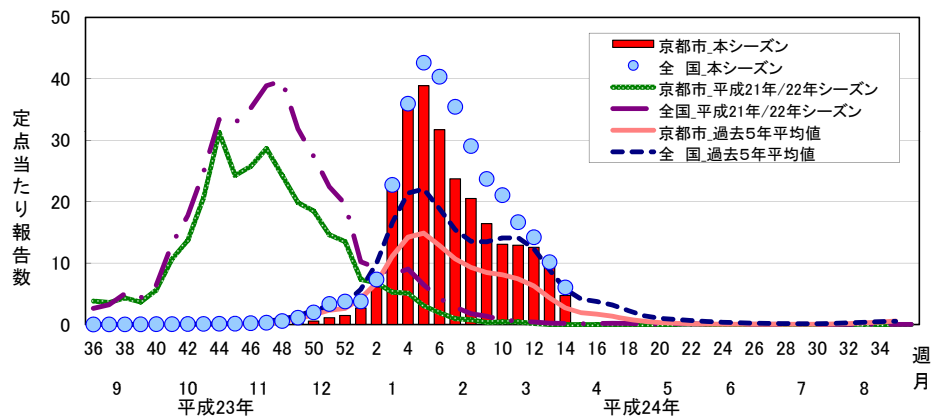
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第14週)と先週(第13週)の定点当たり報告数の比較



2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第10週	849
第11週	878
第12週	854
第13週	665
第14週	321
累積報告数(第36週以降)	16,633

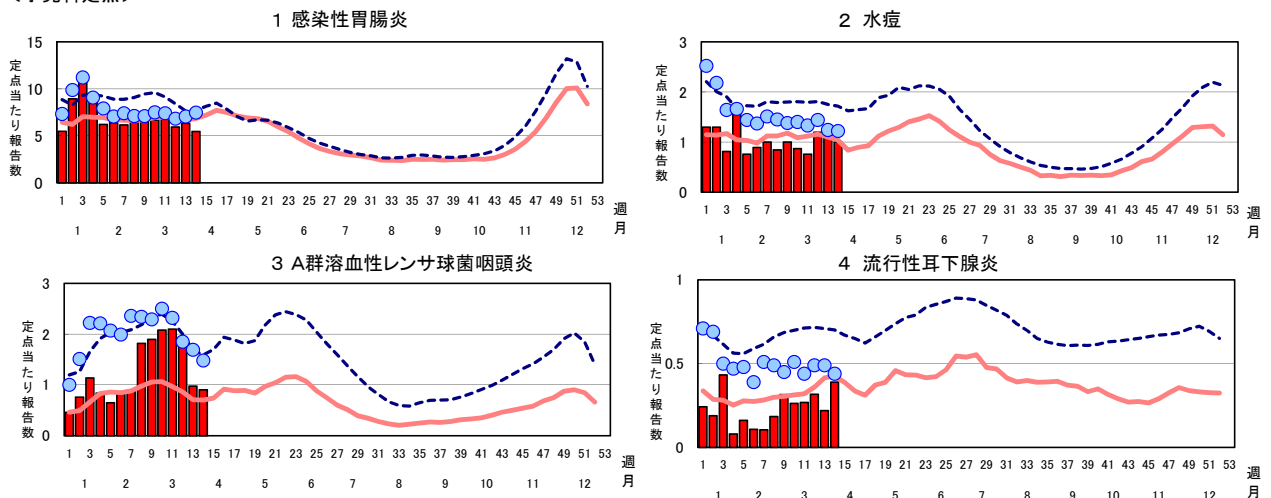


※平成21年/22年シーズンは、新型インフルエンザの発生により、例年と流行傾向が大きく異なるため、別に表記しています。過去5年平均値は、36-52週はH17-H20年及びH22年、1-35週はH18-H21年及びH23年の平均値です。

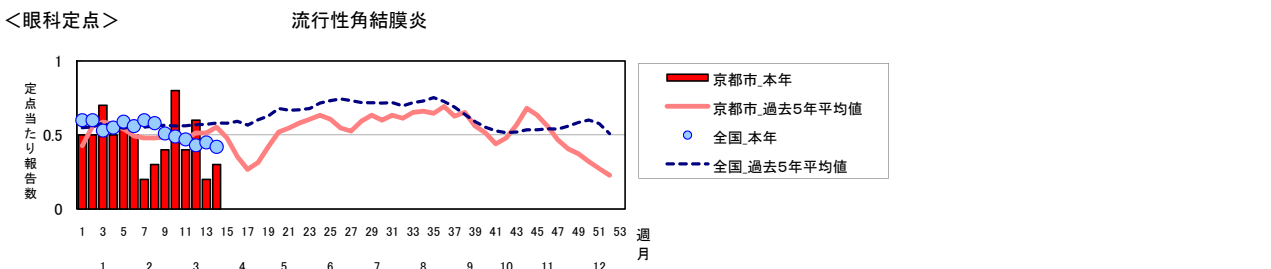
※京都市のインフルエンザ発生状況の詳細を下記に掲載しています。
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000071285.html>

3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



第14週(4月2日～4月8日)トピックス: <風しん>

風しんの報告が2例あり、本年の累積報告数は4例となっています。4例全て男性で、年齢は40歳代が3例、10歳代が1例で、ワクチン接種歴は不明3例、なし1例です。

京都市の年間累積報告数は、風しんが定点把握疾患から全数把握疾患に変更(平成20年1月1日)されて以降、平成20年(1例)、平成21年(1例)、平成22年(0例)、平成23年(0例)で推移していました。全国では、平成20年(303例)、平成21年(147例)、平成22年(87例)と減少していましたが、平成23年(374例)に増加に転じ、本年も引き続き多い状態が続いています。

都道府県別報告数は、本年は大阪府、兵庫県、東京都、千葉県、京都府の順に多くなっています。(平成24年4月16日現在)

全国の性別・年齢群別報告数の推移をみると、平成23年に20～40歳代の男性の報告数が急増しています。平成22年の抗体保有状況の調査(*)では、風しんHI抗体保有率が成人男性で低いことが示されており、風しんを発症した成人男性から妊婦への感染による先天性風しん症候群の発生が懸念されています。

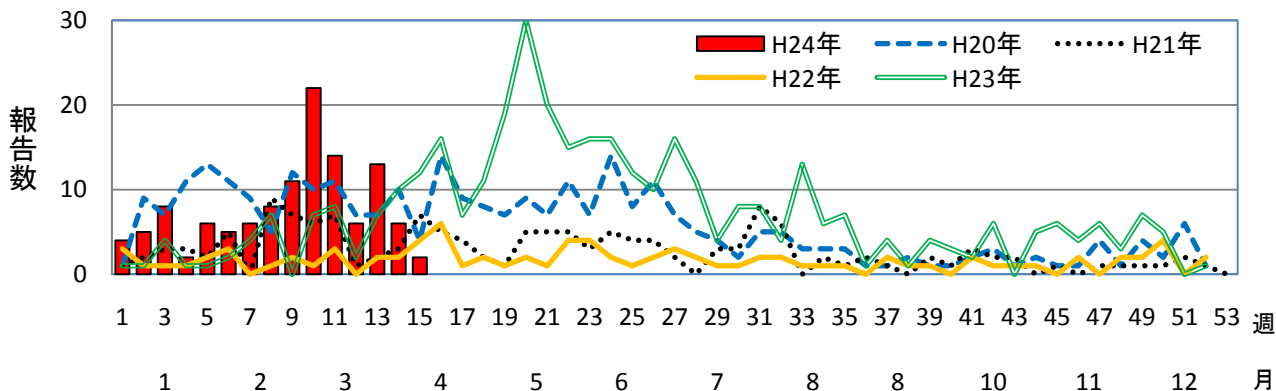
風しんの届出基準及び届出様式は、下記をご覧ください。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000107310.html>

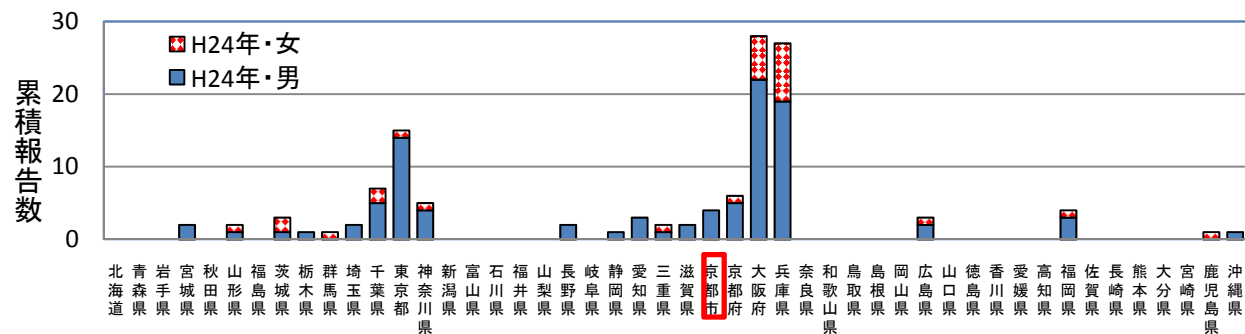
(*)国立感染症センター 感染症情報センター 感染症流行予測調査

<http://idsc.nih.go.jp/yosoku/Rubella/Serum-R2010.html>

全国の報告数の推移(平成24年4月16日現在)



都道府県別累積報告数(平成24年4月16日現在)



全国の年齢群別割合の推移

